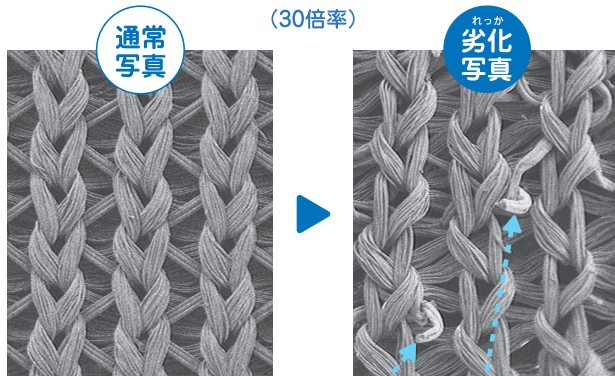


ポリウレタン糸が傷むと以下の状態になります。

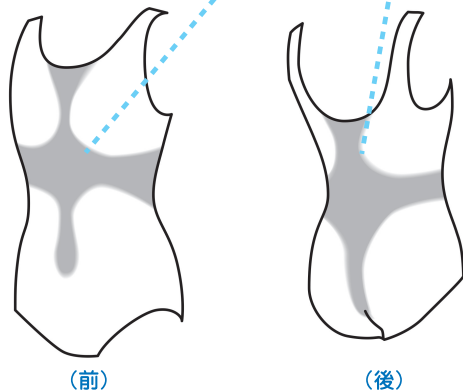
生地きじの構造

着用状態を想定した撮影のため生地を引っ張った状態になっています。

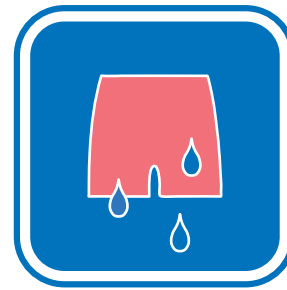


正常な状態の生地表面。
ポリウレタン糸は編目の間に
白っぽく見えます。

劣化によりポリウレタン糸が
所々断裂した状態の生地表面。



イラストのグレー部分は比較的水が通りやすく、
生地が早く傷みやすい部分です。



SWIM WEAR GUIDE BOOK

より長く水着を
お使いいただくために

スイムウエア ガイドブック



より長く水着を
お使いいただくために

水着には耐塩素性のあるポリウレタン糸を使用していますが、
ご使用によりいずれ劣化する事は避けられません。



ご注意

- かゆみ、かぶれ、湿疹、炎症など肌に異常が感じられたときは、ご使用をやめ、ただちに専門医にご相談下さい。
- 水着を着用されていても、肌に日焼けをする事があります。
- 長期間保管されますと、ポリウレタンやゴム部分は劣化します。



R100

100%大豆由来のインクを使用しています。

スイムウエア ガイドブック

より長く水着をお使いいただくために。

水着には伸縮性に優れたポリウレタン糸を使用しているものが多くあります。ポリウレタン糸は大変デリケートでプール内の滅菌用塩素剤により劣化し強度や伸縮性が低下します。また着用後濡れたまま放置しても劣化が進みます。



水着は劣化します!

水着を着たときは



- 化粧品類(とくに日焼けオイル、ヘアカラーなど)が水着に付かないようにして下さい。ゴム部分を傷めたり、生地が変色する場合があります。
- すべり台などの使用は、摩擦熱で生地を傷めることがあるので、注意して下さい。
- サウナ、ジャグジー、温泉などでの着用は、熱で生地の劣化を早めます。
- ざらざらしたプールサイドや砂などに座られる場合は、擦らないようにして下さい。

泳いだあとは



- プールの中の塩素は、生地を傷めたり色落ちの原因になります。脱いたらできるだけ早く水道水ですすいで下さい。型くずれを防ぐため、タオルなどで十分に水気を取って下さい。
- ヘアードライヤーでの乾燥はしないで下さい。
- 車のトランクなど高温になるところには絶対に放置しないで下さい。
- 濡れたまま長時間放置しないで下さい。

洗濯するときは



- 洗濯は洗剤で軽く押し洗いしてから十分にすすいで下さい。干すときは形をととのえ、必ず直射日光のあたらないところで陰干して下さい。
- 塩素系漂白剤は絶対に使用しないで下さい。
- 洗濯機を使用される場合は必ずネットを使用して下さい。
- 乾燥機、アイロンの使用はさけて下さい。

収納するときは



- 防虫剤などの薬剤と接触しないように収納して下さい。
- パッド付き水着はカップ部分に柔らかい紙や布をつめ、型くずれしないよう収納して下さい。
- 収納は高温多湿をお避け下さい。